

東京-ロンドン

グリーンファイナンスセミナー
2023

近年、環境問題の解決につながる投資への資金提供として、大きな期待が寄せられている「グリーンファイナンス」をテーマに、東京・ロンドン両都市の最新動向や取り組みなどを紹介します。

参加費無料

事前申込制

開催日時 2023年10月11日(水)
17:00~18:30 (日本時間)

開催方法 会場とオンライン配信のハイブリッド

会場 ホテルモントレ半蔵門 1階 瑠璃
(東京都千代田区一番町23番1号)

オンライン配信 Zoomによるウェビナー

※日・英同時通訳あり ※後日アーカイブ配信あり

会場へのアクセス

- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅 5番出口より約1分
- 東京駅から約15分
東京メトロ丸の内線「大手町」駅→
東京メトロ半蔵門線乗換→「半蔵門」駅
- 品川駅から約30分
JR山手線(新宿方面)→「渋谷」駅→
東京メトロ半蔵門線乗換→「半蔵門」駅
- 渋谷駅から約10分
東京メトロ半蔵門線→「半蔵門」駅
- 新宿駅から約25分
JR山手線(品川方面)→「渋谷」駅→
東京メトロ半蔵門線乗換→「半蔵門」駅

対象 国内外の金融関係者、関係省庁・団体、都民の方々等、どなたでもご参加いただけます。

お申し込み 下記ウェブサイトよりお申し込みください。
<https://www.greenfinancesemi.metro.tokyo.lg.jp/>



▼プログラム(予定)

(敬称略)

17:00	開会挨拶	エミール・レベンドールー 駐日英国大使館 公使
17:02	基調講演 (ビデオメッセージ)	ニコラス・ライオンズ シティ・オブ・ロンドン ロードメイヤー
17:09	東京都講演	山岡 浩巳 東京都チーフ国際金融フェロー(フューチャー株式会社 取締役グループCSO)
17:16	対談	「グリーンファイナンスにおける日英協力の深化」 【英国側】マーク・マニング 金融行為規制機構(FCA) ストラテジック・ポリシー・アドバイザー 【日本側】池田 賢志 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー モデレーター 山岡 浩巳 東京都チーフ国際金融フェロー(フューチャー株式会社 取締役グループCSO)
17:41	パネル ディスカッション	「日英におけるネットゼロに向けた取組と国際連携の可能性」 【英国側】広瀬 健 FTSEラッセル インデックス投資部門 日本代表 藤田 学 M&G Investments Japan代表取締役 【日本側】松尾 琢己 株式会社日本取引所グループ 総合企画部企画統括役/ 株式会社東京証券取引所 カーボン・クレジット市場整備室長 角田 真一 株式会社みずほフィナンシャルグループ 執行理事 サステナブルビジネス部長 モデレーター 石川 純子 株式会社野村総合研究所 金融デジタルビジネスリサーチ部 エキスパートリサーチャー
18:26	閉会挨拶 (ビデオメッセージ)	小池 百合子 東京都知事

※会場では、セミナー終了後、登壇者を交えたネットワーキングを予定しています。(オンライン配信はありません)
※都合により、プログラムの内容や登壇者等が変更になる場合があります。

主催



後援



協力

Green Finance
Network Japan

お問い合わせ

グリーンファイナンスセミナー2023事務局

●E-mail
greenfinancesemi@jijipress.online

開会挨拶

エミール・レベンドール

駐日英国大使館 公使



2023年10月に公使として駐日英国大使館に着任。外務連邦開発省での勤務は本職が初めて。学術界、金融業界を経て、2001年に財務省入省。財務省では世界金融危機下での銀行破綻処理及び規制改革をけん引するなど、金融政策に従事。2012年に、英国の外交官である妻のフリーダの南部アフリカへの赴任に同行し、アフリカの複数の国の政府の金融改革のコンサルティングを行う。2016年、英国の大手金融機関の会長からなる委員会のため、シティ オブ ロンドンのBrexitに向けた準備を支援する。2017年、北京のアジアインフラ投資銀行理事会執行役員として財務省の国際担当部局に帰任。在任間、財務大臣の中国、インドおよびブラジルとの経済対話も担当する。2019年から2023年にかけて国家安全保障理事会アジア太平洋部長として内閣府に出向、G20スケジュールパ、AUKUSの英国代表調整官などを務める。上記のほか、上級職の公務員として、職場でのメンタルヘルスサポートの支持に注力。趣味はサイクリング、アーセナルFCのサポーター。オクスフォード大学(学士(政治学及び哲学))、ケンブリッジ大学(修士(哲学))、カリフォルニア大学バークレー校(修士(政治科学))卒業。

基調講演(ビデオメッセージ)

ニコラス・ライオンズ

シティ・オブ・ロンドン ロードメイヤー



2022年11月、第694代ロードメイヤーに就任。ケンブリッジ大学で歴史学を専攻した後、1982年にモルガン・ギャランティ・トラスト(現JPモルガン・チェース)に入社。その後、ソロモン・ブラザーズやリーマン・ブラザーズにて、銀行や保険会社を対象に、合併・買収や資本調達に関するアドバイザー業務に従事。リーマン・ブラザーズでは、国際的な分野において指導的役割を担い、2003年退職。現在は、FTSE 100 企業のフェニックス・グループ会長をはじめ、多くの金融機関や慈善団体の取締役・理事等を務めるなど、幅広く活動。

東京都講演

山岡 浩巳 東京都チーフ国際金融フェロー(フューチャー株式会社 取締役グループCSO)



1986年に日本銀行入行後、日本銀行において調査統計局景気分析グループ長、同企画室企画役、同金融機構局参事役大手銀行担当総括、金融市場局長、決済機構局長などを務める。この間、国際通貨基金日本理事代理、パーセル銀行監督委員会委員、国際決済銀行市場委員会委員、同決済・市場インフラ委員会委員なども歴任。東京大学法学部卒、カリフォルニア大学バークレー校法律学大学院修了(修士)。ニューヨーク州弁護士。現在、日本のメガバンクや主要企業などで構成される「デジタル通貨フォーラム」座長も務めている。

対談「グリーンファイナンスにおける日英協力の深化」

英国側 マーク・マニング

金融行為規制機構(FCA)
ストラテジック・ポリシー・アドバイザー



金融行為規制機構(FCA)でサステナブルファイナンスのストラテジック・ポリシー・アドバイザーとして、気候・サステナビリティに関する報告と保証、移行計画、サステナブル投資のラベリング・開示等、同機構ESG戦略の中心的な取り組みを複数担当。また、証券監督者国際機構(OSCO)のサステナブルファイナンス・タスクフォース、英国移行計画タスクフォース・デリバリーグループ、国際サステナビリティ基準審議会(ISSB)の管轄区ワーキンググループ(JWVG)の中心メンバーの一員である。2018年にFCAに加入する前は、セントラルバンクとしてイングランド銀行とオーストラリア準備銀行で15年間勤務。またクライノート・ペyson、インベストメント・マネジメント、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントで債券・通貨ファンドマネージャーとして数年勤務。ユニバーシティカレッジ・ロンドンとロンドン・ビジネス・スクール各校より経済学・金融学修士号を取得。

日本側 池田 賢志

金融庁
チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー



2019年3月、サステナブルファイナンスの推進に関する事項についての企画及び立案に参画し、関係事務に関し必要な調整を行うため、金融庁に「チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー(CSFO)」のポストが新設されたことに伴い、初代CSFOに就任。同職においては、民間金融における持続可能な開発目標(SDGs)との整合性向上や、事業者及び金融機関によるTCFD開示の推進などの課題に取り組むほか、IPSTランジションファイナンスワーキンググループの共同議長、「インパクト投資に関する勉強会」の副座長を務めるなど、サステナブルファイナンスに関する職務を幅広く所掌。

パネルディスカッション「日英におけるネットゼロに向けた取組と国際連携の可能性」

英国側 広瀬 健

FTSEラッセル
インデックス投資部門 日本代表



日興アセットマネジメントやUBSインサガー、三菱UFJモルガンスタンレーPB証券にてシニアファンドマネージャー及びチーフストラテジストを歴任。その後経済統計ベンチャーのナウキャスト(取締役CSO)やS&P Global(ストラテジックアカウントディレクター)を経て2021年より現職。一橋大学商学部卒業、トヨタ自動車財務部出身。公認オルタナティブ投資アナリスト(CAIA)、金融梁山泊研究会主催。

<主な著書>
インクルーシブ・キャピタリズム～疲弊する資本主義 再生への新たな潮流～(広瀬、青木、木村、棚瀬 日本経済新聞出版)

英国側 藤田 学

M&G Investments Japan
代表取締役



2023年6月よりM&G Investments Japan 代表取締役。直近まで、シュローター・インベストメント・マネジメント(日本)で執行役員営業統括を務める。15年間の在職中に、機関投資家向け営業部長などの要職を歴任。日本生命でキャリアをスタートした後、インベスコ・アセット・マネジメントを含め、日本の金融業界で24年以上の経験を有する。日本におけるM&Gのビジネス構築の深化と成長を担い、グループの戦略的ビジネスを指揮しながら日本の幅広い顧客層とのビジネス拡大に向けて営業活動を牽引する。2000年東京大学経済学部卒業。

日本側 松尾 琢己

株式会社日本取引所グループ
総合企画部企画統括役/
株式会社東京証券取引所
カーボン・クレジット市場整備室長



1992年東京証券取引所入所、株式部、債券部、大蔵省出向、大学院、証券保管振替機構出向を経て、2006年債券部債券総務課長(排出量取引担当等)、経営企画部課長を経て、2016年より総合企画部企画統括役、2022年よりカーボン・クレジット市場整備室長。

日本側 角田 真一

株式会社みずほフィナンシャルグループ
執行理事 サステナブルビジネス部長



1995年 4月 入行 福岡支店
2000年 4月 メディア・情報通信営業部
2005年 11月 欧州プロダクツ営業部
2010年 7月 スタンフォード大学留学
2011年 7月 産業調査部戦略プロジェクト室
2016年 5月 産業調査部アジア室長
2020年10月 企業戦略開発部副部長兼
サステナブル・ビジネス推進室長
2022年 4月 株式会社みずほフィナンシャルグループ
コーポレート・インスティテュショナル業務部
サステナブル・ビジネス推進室長
2022年 9月 サステナブルビジネス部長
2023年 4月 執行理事 サステナブルビジネス部長(現職)

モデレーター 石川 純子

株式会社野村総合研究所 金融デジタルビジネスリサーチ部 エキスパートリサーチャー



大学卒業後、日本銀行で米英や新興国の金融経済やマクロ政策に関する調査と日銀自身による政策決定に資する資料作成に携わった後、米下ロンドン大学大学院で公共政策学の修士を取得。NRIに入社後はこうした経験と知見を活かしつつ、金融環境が激変する下での中央銀行や監督当局による政策対応やデジタル通貨の運営を考える「金融市場パネル」や「通貨と銀行の将来を考える研究会」の企画・運営に順次携わったほか、専門的知見を有する英国・欧州に重点を置きながら、マクロ政策運営について意見を発信。サステナブル金融についても、主として政策や規制の面から課題や対応に関する調査へとスコープを拡大中。

閉会挨拶(ビデオメッセージ)

小池 百合子

東京都知事



1976年 10月 カイロ大学
文学部社会科学科卒業
1992年 7月 参議院議員
1993年 7月 衆議院議員
2003年 9月 環境大臣
2004年 9月 内閣府特命担当大臣
(沖縄及び北方対策)兼任
2006年 9月 内閣総理大臣補佐官
(国家安全保障問題担当)
防衛大臣
2007年 7月 自民党総務会長
2010年 9月 自民党総務会長
2011年 10月 予算委員会理事
2016年 7月 東京都知事 当選
2020年 7月 東京都知事 当選(2期目)